



2023年度開催 教職スタートゼミ

教職教育センター 新所長からのメッセージ

教職を目指すみなさんへ

教職教育センター所長
文学部教授 福島 彰利



今年度の前期も既に4分の3が終わりました。教職課程で頑張っている皆さんは計画通り勉強が進んでいるでしょうか。これから先も教員免許取得を目指して一つ一つハードルを越えてくれることと期待しています。ただ、一つ間違えないでいただきたいことがあります。それは、教職課程の目的は免許の取得が最終目的ではなく、あくまでも教員を養成するということです。

教員という仕事が他のさまざまなキャリアと大きく違っていることは、たとえ新卒であったとしてもベテランの先生方に劣ることなく職務をこなさなければならないということです。新人だからといって半人前の授業や生活指導しかできないということは許されません。言い換えれば、新任教員であっても一人前のプロフェSSIONALでなければならないのです。

どうぞ皆さんはプロフェSSIONALとしての理想的な教員像を自分に重ねてみてください。今すぐに教員として教壇に立てるといふ自信のある人は多くはいないはずですが、教職課程で学ぶということは、理想の教員像の具現化を目指すということです。

とはいえ、理想の教員像とは具体的にどのようなものでしょう

か。教員の仕事の中心にあるのは「児童生徒に確かな学力をつけること」ですから、それを遂行するにはそれぞれの教科における確かな専門力が必要なことは言うまでもないでしょう。ですが、教員の仕事は授業だけで完結するわけではありません。授業外での生活面における指導、むしろこのことが現代における大きな課題の一つとなっています。学校現場で生徒と接し、指導をするとき、教員は親としての顔、先輩としての顔、仲間としての顔を持ち合わせていなければなりません。こうした多面性に通底するのは「生徒に寄り添う」という姿勢です。時代の流れとして各大学や機関において次々とダイバーシティ&インクルージョン宣言が発表されていることは、小中高校の現場とは無関係であるとは言えないはずですが。

理想の教員像の根幹は時を経ても変わることはありませんが、その時々で求められる教員像は時代に合わせて変化します。この先、教壇に立つときにどんな教員が求められているのか、教職課程の皆さんはアンテナを大きく張って時代の要請に応えることのできる教員を目指してくださることを願ってやみません。

「教員の魅力とは」

定金 浩一 先生

(全学共通教育センター・教職教育センター教授)

教師の仕事には、学校現場で教鞭をとる教員ならではの魅力が多数あります。その魅力の多くは、子どもたちをはじめとする人との関わり合いから生まれます。ここでは2点紹介したいと思います。

1点目は、「子どもたちの成長を実感できる」ことです。子どもたちを指導し見守るなかで一人ひとりの成長が目に見えて感じられます。できなかったことができるようになったり、新しいことにチャレンジする姿が見られたり、周囲との関わり方が変化するなど、人間的な成長を見ることができるところです。

2点目は、「専門分野を活かして仕事ができ、自分自身が成長できる」ことです。今までの学びを通して得られた知識や身に付けてきた専門分野のスキルを仕事に活かせることです。また、子ども同士のトラブルや子どもの悩み相談、保護者からの相談などに対して、思い悩み、試行錯誤することも多くありますが、そのようななかで、他者の多様な考え方・感じ方に触れ、人との向き合い方や問題解決の方法を学び、自分自身が人として成長できることです。

この2点は他の業種では感じられにくい魅力ではないかと思えます。

★オフィスアワー★

【前期】月曜日 12:20～13:20

【後期】火曜日 13:00～14:30

【研究室】11-203

できればメールなどで
事前予約をしてください。



「教員採用試験の早期化に向けて」

藤原 健剛 先生

(経済学部・教職教育センター特任教授)

4月30日付けで文部科学省教育人材政策課から各大学宛てに「令和8年度教員採用選考試験の実施に関する留意点等について(周知)」と題する事務連絡が発出されました。現役の学生に関係がある内容では、文科省から各教育委員会に、①令和6年6月16日を標準日としている第一次選考の日程を、令和7年度には5月11日を標準日とし、最終合格発表日についても前倒しで検討してほしい旨、依頼している。②教員採用選考試験を複数回実施することや筆記試験の一部を大学3年生のうちに受験することができる仕組みを工夫してほしい。なお、大学3年生を対象とした選考試験については、大学における学修に支障が生じないように、大学の推薦等を前提とするなど、適正な規模での実施となるよう依頼している、ということです。

文科省も教員の人材確保に知恵を絞っていることが分かります。しかしながら教採が難関であることに変わりはありません。受験にフライングはありませんから、少しでも早くから準備にかかり、教採半年前からスパートに入ってください。3年生は「本物」の筆記試験にチャレンジすることで1年前にヤマ場を設定するのも有効でしょう。

★オフィスアワー★

【前期・後期】火曜日 13:00～14:30

【研究室】11-206



「学校ボランティア参加の魅力」

八木 眞由美 先生

(法学部・教職教育センター特任教授)

今年度も、学校ボランティア活動を担当します。

「学校の様子や子どもの実態がよく分かった」「先生になりたいという気持ちが強くなった」「教職課程の授業で学んだことが、ボランティアを通じて体験することで、より理解が深まった」これは、学校ボランティア活動に参加した学生の感想です。

この活動は、学校現場にボランティアとして入り、先生方のサポートや児童・生徒の学習支援等に従事するものです。学校現場の雰囲気を肌で感じ、先生方の仕事を間近で観察できるというメリットがあります。

活動にあたっては、事前の面接や中間報告会、振り返りの会など、教職教育センターが、積極的に活動をサポートしています。活動は①大学隣接地域の「本山地区(本山中学校区・本山南中学校区)」の小・中学校7校での活動、②本山地区以外の神戸市内の学校や兵庫県内外の学校(地元の学校)での活動があります。

教員を目指すみなさんの積極的な参加をお待ちしています。

★オフィスアワー★

【前期】月曜日 12:20～13:20

木・金曜日 14:40～16:00

【後期】月曜日 10:40～12:10

金曜日 12:20～12:50

【研究室】11-202



「教職スタートゼミの開催について」

井上 快 先生

(文学部・教職教育センター特任講師)

集団生活が世の中から一掃されようとしています。「コスパ」や「タイパ」を追い求める人々は、集団生活を妖怪のように忌み嫌います。一人ひとりのペース、リズムが尊重されることこそ重要なのだ、と。

こうした考え方をもつ人々は学校に厳しい眼差しを向け、教育行政もそれに応えるかたちで改革を進めています。経済産業省が推進する「未来の教室」ではAI型タブレット教材が活用され、子ども一人ひとりにオーダーメイド化された学習が提供されているそうです。先人たちが大切に守ってきた集団学習の伝統は葬り去られるかもしれません。

一まわりに人がいて、一緒に勉強するから良いんじゃないか。

教職教育センターでは、毎年11月に2、3年生を対象としたプログラム、教職スタートゼミを開催しています。教職スタートゼミでは、教員採用試験をともに闘う仲間たちと共に模擬試験に挑戦します。また、4年生の先輩も交えて採用試験を乗り越えるための勘やコツを学習します。他者と共に学ぶことの楽しさ、大切さを再発見する機会として、もちろん採用試験合格に向けた最初のステップとしても参加してもらえたらと思います。

★オフィスアワー★

【前期】月曜日 10:40～12:10

【後期】火曜日 14:40～16:10

【研究室】11-207



教職教育センターの上記4名の先生方は、11号館2Fに研究室があります。オフィスアワーを活用してください。



KTLの紹介

(K-TEC Laboの略称)

開室日時
場所

月～金曜日（授業期間中） 9:00～17:00

11号館2階 東側

※利用時は利用記録簿へ記入してください。
※食事は控えください。

KTLには、教職指導員の先生が日替わりで常駐！教育現場での経験豊富な先生方にいつでも相談できます！
また、小・中・高で使用されている黒板・机・椅子を設置した実習室で、本番さながらの模擬授業に挑戦できます！

【所蔵資料】

小・中・高の教科書、学習指導要領／先輩たちの教育実習日誌（学習指導案、観察記録、感想等）／採用試験受験報告書／教職関係雑誌の最新号／教職関連資料

【KTLで出来ること】

教職についての相談／板書練習／模擬授業／電子黒板・デジタル教科書の活用練習／指導案の作成



教職教育センター 共同研究・実習室(KTL) 指導担当一覧

授業・試験実施期間中(2024/4～2025/1)

	月	火	水	木	金
10:00 ～ 13:00	小学校	国語	日本語・ キャリア教育	社会・ 地歴・公民	数学
	田村 泰宏 先生 	田中 清貴 先生 	吉岡 鎮香 先生 	岡本 真一 先生 	岡田 眞和 先生 
14:00 ～ 17:00	理科	理科	社会・ 地歴・公民	英語	小学校
	山本 真弘 先生 	田中 芳和 先生 	小南 浩一 先生 	秋宗 英生 先生 	田村 泰宏 先生 

◆上記の表には、先生の専門教科等を記載してありますが、**教科等に関係なく**、模擬授業実施や指導案作成、教職全般について、**指導・相談を受けられます**。授業のない時や可能な時間帯に、KTL・KTCを積極的に利用しましょう！



KTCの紹介

(K-TEC Commonsの略称)

開室日時 平日 9:00~17:00 (授業期間中)
場所 11号館2階 東側 (KTLの向かいの部屋)

KTCに入って左側は「教員採用試験の過去問」を、奥の窓際に各自治体から届いた「教員採用試験募集要項」を配架しています。また、入り口の右側には学校ボランティアの募集要項や過去に開催した合格体験報告会の冊子等も配架中です!また、KTCでは個人学習のみならずグループ学習等、教科や学年を越えて同じ夢を持つ仲間同士が、互いに高め合う学びの場としても活用出来ます。



今年の春から教員になった卒業生2名が、初任者研修後に大学へ寄って在学生を激励しに来てくれました。

各自治体の教員採用試験募集要項は、大学に送られてこないものもあるので、各自HP等をチェックしてください!



過去問題集を積極的に借りて、受験を希望する自治体の教員採用試験対策に活かしましょう!!

- 【貸出期間】** 原則2週間
- 【貸出】** 借りたい図書を3号館1F教職教育センター事務室へ
→窓口で貸出簿に記入
- 【返却】** 先に教職教育センター事務室の窓口で返却図書を見せる
→自身でKTCの棚に返却



— 教職教育センターの取り組み —

教職教育センターでは、教員採用試験に向けて様々な取り組みを実施しています。各教科の指導力を高めるための教職指導員の先生方による「教科別指導」、教員としての実践的指導力を身に付けることを目的とした各種講座、また、各自治体による「採用試験説明会」など年間を通して取り組んでいます。教員採用試験合格に向けて対策講座も充実しています。積極的に参加しましょう!

(下表、2024年度の実施予定一覧)



㉔ 「面接基礎・場面指導」対策講座



㉕ 「集団面接」対策講座

4月	2・3年生	第1回教科別指導
	3・4年生	自治体別教員採用試験説明会(兵庫県・神戸市・岡山市・岡山市・大阪市)
	4年生	教員採用試験対策 自治体別 エントリーシート作成・面接基礎講座
5~8月	3・4年生	「教員採用試験対策講座」
		講座1【面接基礎・場面指導】 写真㉔
		講座2A・4A【集団面接】…兵庫県・神戸市・豊能等
		講座2B【集団面接】…兵庫県・豊能等 写真㉕
		講座3【個人面接・場面指導】
		講座4B【集団面接】…神戸市・奈良県等
		講座5【教科別 2次対策】
講座6【小論文対策】		
6月	1~4年生	卒業生教員による講演会
7月	2・3年生	第2回教科別指導
10月	2・3年生	第3回教科別指導/教員採用試験合格体験報告会
11月	2・3年生	教職スタートゼミ2024
12月	2~4年生	甲南大学卒業生教職員の集い (甲師経星会と共催)
	4年生	「教職実践演習」…ゲストスピーカーによる授業
	1年生	小学校教諭一種免許状取得プログラム説明会
2~3月	2・3年生	第4回教科別指導
	2~4年生	【春期講座】 自己PR力アップ～願書・エントリーシート・話し方・文章表現/教員採用基礎講座(集団討論・個人面接・模擬授業)/集中講座(地歴・理科)

★ 小学校教諭一種免許状取得プログラム ★

《中学校免許との同時取得が前提、小学校免許のみの取得は不可》

本学に在学しながら、甲南大学が協定を結んでいる神戸親和大学通信教育部の小学校免許取得に必要な科目を科目等履修生として受講し、卒業時に「小学校一種免許状」の取得を可能にするものです。(別途費用が必要)

このプログラムでは、小学校免許の取得に必要な単位を2年次生から3年間で修得するので、毎年12月ごろに1年次生を対象に説明会を開催し、参加学生の募集を行います。



(小学校プログラム卒業生を送る会)

※小学校プログラムの参加には条件があります

★ 編集後記 ★

5月31日をもって、教職教育センター事務室の南部晶子さんが退職されました。長きに渡り甲南学園で勤務し、多くの卒業生を送り出した、みんなの母のような存在でした。今までお世話になりました。第二の人生も楽しんでください。(編集担当 中山)



● 教職教育センターホームページ ●

<https://www.konan-u.ac.jp/ktec/>



教職を目指すみなさんへの情報(採用情報、教員採用試験対策、講師登録制度など)をお知らせしています。

甲南大学 教職教育センター

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
 TEL: 078-435-2277 FAX: 078-435-2278
 E-mail: kyooshoku@adm.konan-u.ac.jp